

# 閉会挨拶

鈴木 舞（コーディネーター）

○鈴木 改めまして、鈴木でございます。本日は長時間にわたるシンポジウムへのご参加、また、日本、中国をはじめとして、多くの地域からのご参加、事務局を代表しまして感謝申し上げます。日本からは、早期秦文化のご研究を続けてこられた飯島先生、そして、中国からは、秦漢考古を牽引してこられ、また、20年近くにわたって飯島先生と共同調査を進めてこられた焦南峰先生、梁雲先生、曹龍先生の3名の先生方にご登壇いただくことができました。

また、本日のご発表が考古学を中心とするなかで、平勢隆郎先生には、文献史学の視点から大変貴重な総括をしていただけましたこと、心より感謝申し上げます。

このたび、事務局を務めさせていただきました角道、菊池、大日方、鈴木ですが、けれども、われわれ世代は、ちょうど先生方の学生世代となります。今回、このようなかたちで先生方と一緒にさせていただきましたこと、大変嬉しく感じています。本当にありがとうございました。

運営に際しましては、ご参加の皆さまには、ネットワークのことであるとか、いろいろなことでご不便をおかけすることもあったかと存じますが、ここまでご協力、お付き合いいただき、本当にありがとうございました。

また、本日のシンポジウムは、東京大学連携研究機構ヒューマニティーズセンターLIXIL潮田東アジア人文研究拠点のご支援によって開催させて頂くことができました。広く人文学を研究対象とされるセンターにおかれましては、私たちの中国考古学、また、早期秦文化というテーマへご助成くださいましたこと、心より御礼申し上げます。

本日、事務局は、私、鈴木の所属先である東京大学附属図書館会議室よりお送りしております。開催に際しましては、附属図書館、それから、図書館事務部の皆さまから多くのご協力をいただきました。ここに改めまして感謝の意を表したいと思います。

なお、本日のシンポジウム終了後には、ヒューマニティーズセンターよりアンケートをお送りさせていただくことになっております。本日は、時間の関係でなかなかご質問等いただくことができなかったこともあるかと存じます。本シンポジウムは、この後、ブックレットのかたちで刊行を予定しておりまして、もしよ

ろしければ、アンケートのほうにご質問、ご感想等をいただければと思います。それらについて、ブックレットの中で少しでも反映させていければというふうに考えております。

秦文化、それから、早期秦文化の研究は、ここ20年、30年、非常に注目されてきた調査・研究でありまして、また本日、梁雲先生が甘肅省毛家坪遺跡の発掘現場からご発表くださいましたとおり、まさに今も調査・研究が進められています。今後、さらに研究が進展していくこと、そしてまた日中間の共同研究が継続、発展することを祈念しつつ、本日の締めくくりにさせていただきますと思います。また次回、何らかの機会に皆さんとお目にかかれることを大変楽しみにしております。本日は、どうもありがとうございました。

非常感谢大家今天参加我们秦文化研讨会。首先感谢今天发言的中方老师焦老师、梁老师、曹老师，还有日本方面的饭岛老师、平势老师。我们秘书部的四个人、角道、菊地、大日方、铃木都是这些老师们的学生世代。我们非常高兴这次邀请这些老师们学术交流。也感谢主办方东京大学人文中心，同时感谢东京大学附属图书馆以及图书馆事务部帮助举行这次的研讨会。

我们比较担心今天不够时间大家提问。其实，我们正在准备基于今天的研讨会的发表内容出版一本书。研讨会结束后，人文中心会发给你们比较简单的問卷。请在問卷里提问，我们就会尽量在那本书里面答应。

再次感谢您今天的来临，真心希望以后也继续以及发展中日学术交流。今天的所有节目到此结束，谢谢大家，下次见！



▲当日の事務局の様子（東京大学附属図書館会議室にて）